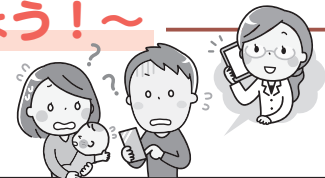





# 子育てナビ

## ～子どものケガや事故に気を付けましょう！～

子どものケガや事故の大半は、自宅の環境整備や事前の対策で防ぐことができます。保護者の気配りや事故防止の認識を深めましょう。



### 【発達に従って起こりやすい事故(例：0～1歳頃)】

	誕生	3～4か月	5～6か月	7～8か月	9～10か月	11～12か月	1歳以降
<b>運動機能の発達</b>		身体を動かす 足をバタバタさせる	口の中に物を入れる 寝返りを打つ	お座り ハイハイする	物をつかむ つかまり立ち	1人歩きる	走る、のぼる 階段を昇降する
<b>転落</b>		ベッド、ソファ からの転落		階段からの 転落		バギーや椅子、 浴槽からの転落	ベランダや窓の近くにある 踏み台になる椅子や プランターからの転落
<b>誤飲 窒息</b>		枕や柔らかいふとん による窒息	何でも口に入れる 小物、たばこ、小さなおもちゃの誤飲			薬、化粧品の誤飲	あめ玉やピーナツ などの窒息
<b>やけど</b>		熱いミルク 熱い風呂	ストーブ、ヒーター(暖房器具) 炊飯器、ポット アイロン				マッチ、ライター 花火
<b>外傷 打撲</b>		床にある鋭いもの 	鋭い角のあるおもちゃ		鋭い角の家具(テーブル等) ドアのガラス、隙間など		転ぶ(屋外の石等)
<b>溺水 (水におぼれる)</b>		入浴時の事故 (わずか10cmの深さの水でもおぼれる危険性があります！)			浴槽への転落事故		

### 【予防法】

#### ❖転落

…大人がベッドから離れる時は、必ず柵を上げる。階段にはベビーガードを取り付ける。ベランダや窓の近くには踏み台になる椅子やプランターなどを置かないようにする。

#### ❖誤飲・窒息

…薬品やたばこ、ボタン電池などは、子どもの手の届かないところに保管する。万が一、飲み込んでしまった場合は、至急病院へ連れていく。

#### ❖やけど

…暖房器具は安全柵で囲う。未使用時はコードを外しておく。高温でやけどしやすいものは、子どもの手の届かないところに置く。

#### ❖外傷・打撲

…家具や部屋の硬い角には、クッション材を付ける。施設や遊具の対象年齢を守り、ルールを決める。野外では、大人がいつも付き添って子どもを見守る。

#### ❖溺水

…入浴中や水遊び中は、子どもから目を離さないようにする。浴槽や洗濯機の水は必ず抜いておく。

